

第41号

# 日置市ボランティアだより



■編集・発行 社会福祉法人日置市社会福祉協議会 ボランティア活動センター  
 本 所 日置市日吉町日置 1132 番地 1 TEL099-246-8561  
 東市来支所 日置市東市来町湯田 3264 番地 TEL099-274-6565  
 伊集院支所 日置市伊集院町郡一丁目 100 番地 TEL099-272-2306  
 吹上支所 日置市吹上町中原 2847 番地 TEL099-296-5257  
 ★ホームページアドレス URL [www.hiokishi-syakyo.com/](http://www.hiokishi-syakyo.com/)



今年は、熊本地震を始め、相次ぐ台風の到来により、全国各地にその爪痕を残しました。また、海外でも災害被害が相次ぎ、その度に自然の恐ろしさや人間の無力さを痛感させられます。

私たちは、日頃から身近で起こり得る災害の知識を深めるとともに、自分ができるとは何かを考えるなど、防災に対する意識を高めていかなければなりません。

そのためには、家庭や地域で防災について話し合う機会を作り、「自助」、「共助」、「公助」の役割を再確認するなど、万が一に備え、みんなで協力して災害時の困難を乗り越えるための体制作りをすることが重要です。

～いつ発生するかわからない災害に備えて～ in日置市

平成28年度

## 鹿児島県総合防災訓練

平成 28 年 9 月 2 日 (金)、日置市東市来総合運動公園周辺において、「鹿児島県総合防災訓練」が実施され、防災関係の 84 機関、約 1,500 名が参加しました。

この訓練に、日置市社会福祉協議会は、鹿児島県社会福祉協議会と共催で、“災害ボランティアセンター設置・運用訓練”を鹿児島県消防学校体育館で行いました。

当日は、市内のボランティアやボランティアグループ、民生委員・児童委員協議会、市役所・社協職員の他、県内の市町社協職員、日本防災士会、日本青年会議所など 110 名が集い、大規模災害時における福祉救援ボランティア活動が効果的に行われるよう、支援組織や支援方法を学びました。

参加者は、「避難者役」、「ボランティア役」、「災害ボランティアセンタースタッフ役」に分かれ、緊張した面持ちで熱心に取り組んでいました。

その他、炊き出し訓練では、日赤奉仕団 15 名が陸上自衛隊と連携し、避難所の避難者への給食支援として、カレーライス 700 食の配膳・配布作業を行いました。



▲災害ボランティアセンターでのボランティア受付



▲ボランティアが避難者支援として足湯(疑似)を提供

### ◎被災地災害ボランティアセンター活動支援について(報告)

日置市社会福祉協議会では、4月に発生した熊本地震や9月に日本へ上陸した台風 16 号の被害に伴い、次の被災地災害ボランティアセンターに職員を2名派遣し、センター運営の支援を行いました。社協では災害時応援協定を締結し、連携して支援を行う体制作りを行っています。

- ◆熊本県西原村・・・5月22日～5月30日(延べ10名)
- ◆鹿児島県垂水市・・・10月6日・10月8日(延べ4名)

心も身体も元気にリフレッシュ！

# ふれあいいきいきサロン研修会

平成28年9月7日(水)及び同月30日(金)に、「日置市ふれあい・いきいきサロン研修会」を、2つの会場に分かれて開催しました。当日は、サロン代表者や支援員の皆さんを始め、自治会長さんや民生委員さんなど多くの関係者が集いました。

研修は2部構成で行われ、第1部では、高齢者福祉支援員(サロン支援員)やサロン遊具の紹介、日置市消費生活センターより、高齢者の消費者トラブルについての説明と出前講座の紹介等がありました。

第2部では、「楽しく脳の健康教室」と題して、鹿児島県認知症介護指導者の指導の下、“認知症”は認知機能障害から発症する病気であり、認知症の方と接するときの心構えとして、『さりげなく援助し、そして温かく見守ることが大切である』ことを学びました。

また、脳を元気にする体操なども紹介され、参加者は、終始、熱心に取り組み、心も身体も元気にリフレッシュすることができました。

★「日置市ふれあい・いきいきサロン研修会」は、サロン内容の充実と協力者やボランティアの技術向上を図り、さまざまな情報提供を行うことを目的に、毎年度、実施しているものです。

日吉・吹上地域



9月7日(水) 日吉老人福祉センター  
講師 野口 和美 氏(参加者 95名)

東市来・伊集院地域



9月30日(金) 日置市中央公民館  
講師 坂井 明弘 氏(参加者 101名)

母親やその家族など6名が参加！

## にこにこ子育て応援隊支援講座

平成28年10月4日(火)、日吉老人福祉センターにおいて、日置市社会福祉協議会主催で「にこにこ子育て応援隊支援講座」を開催し、市内の子育て中の母親やその家族など6名が参加しました。

当日は、日本赤十字社鹿児島県支部 事業推進課 幼児安全法指導員 中山忠順 氏を講師に迎え、「幼児安全法」と題して、乳幼児に起こりやすい事故の予防と手当、心肺蘇生法などを講話や実技を通して学びました。

今回、この講座に参加された方は、「とてもわかりやすい説明で実践もあり、いざというときの自信が少しつきました」などの感想をいただきました。

子どもは大人と違い、最初の胸骨圧迫を数回したら、できるだけ早く人工呼吸を行うことが重要です！



▲胸骨圧迫



▲気道異物除去

乳幼児は、ボタン電池の誤飲事故が多く、一時間以内に処置しないと命にかかわる危険があります！

イベント  
情報

<災害支援研修会>

- 日時:平成28年12月8日(木)13:30~15:40
- 場所:日置市中央公民館(大会議室)
- 定員:50名(定員になり次第、受付終了)
- 詳細については、日置市社協ホームページ [www.hiokishi-syakyu.com/](http://www.hiokishi-syakyu.com/)をご覧ください。